

公益社団法人 日本地すべり学会東北支部 2019年度シンポジウム

「地すべりの安定化の判断、収束条件 ー概成の考え方、その後の管理の在り方についてー」

【趣旨】

地すべり調査解析及び対策工設計等においては、これまでにある程度の知見が蓄積されてきたものの、地すべり活動の収束を判断するには安全率だけではなく、多方面からの総合的な判断が必要になるものとする。各所管における概成基準や事例に関する知見を増やすことは、支部会員の多くを占めるコンサル技術者にとって大きなメリットとなると考え本シンポジウムを企画した。総合討論は、コンサルの立場で感じた概成に関する技術的な疑問や概成基準の見直し等について、官学民の立場を超えた忌憚のない意見交換の場としたい。

【キーワード】 地すべり管理 概成基準 安全率 収束条件 再活動

【開催概要】

日 時： 2019年4月22日(月) 14:00～17:30

場 所： 仙台市戦災復興記念館 記念ホール

参加費： 無料

CPD 単位：3.16 (公社)土木学会認定プログラム (予定)

【講演目次】

○趣旨説明 (14:00～14:05) コーディネーター：金子和亮 氏

○基調講演 (14:05～15:05)

「直轄地すべり防止工事の完了の考え方」(平成16年1月) 制定の経緯と完了事例
網木亮介 様 (一般財団法人砂防・地すべり技術センター理事)

(15:05～15:15) ～ 休 憩 ～

○講 演 (15:15～16:35)

「概成(事業中断)した地すべりの再活動と事業再開」

細谷健介 氏 (新和設計株式会社)

「河川沿いの地すべり再活動」

荻田 茂 氏 (奥山ボーリング株式会社)

「磐井川地すべりの概成について(仮)」 東北森林管理局・国土防災技術株式会社

(16:35～16:40) ～ 小休止(総合討論準備) ～

○総合討論 (16:40～17:25)

司会(コーディネーター)： 金子和亮 氏 大村 泰 氏

【意見交換会】

日 時： 2019年4月22日(月) 18:00～20:00

場 所： グランテラス仙台国分町